

Ⅲ-1-(3) 水資源の有効利用の推進

上水

取組概要	進行管理の指標	平成26年度の取組結果		
<p>水資源の有効利用を行うために、漏水防止計画に基づく効率的な地下漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努める。</p> <p>また、漏水の予防的対策のために、老朽化した配水管や給水管の計画的な更新を行う。</p>	<p>○平成26年度目標 有効率※ 93.56%</p> <p>※有効率[(年間有効水量/年間配水量)×100] 水道施設及び給水装置を通して給水される水量がどの程度有効に使われているかを示すもので、有効水量には、料金収入のある水量のほか、局事業用に使用された水量など、使用上有効とみなされる料金収入のない水量も含む。</p>	<p>○平成26年度 有効率 93.14%</p> <p>○地下漏水調査の延伸による漏水の早期発見</p> <p>○老朽配水管や老朽給水管の更新による漏水量の削減</p> <p>○雨水等の循環利用 長沢浄水場雨水調整池の完成により、雨水、ろ過池排水、配水池排水などを1か所に集め、場内で再利用している。</p>		
		<table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B
評価	B			

今後の取組

【平成27年度】
目標有効率 93.70%

【平成28年度】
目標有効率 93.85%

引き続き漏水防止計画に基づき、漏水の発見に努め、老朽配水管や老朽給水管の計画的な更新を進め、有効率向上に努める。



漏水調査の様子

Ⅲ-2 良好な水環境の創出

Ⅲ-2-(1) 下水道未普及地域の解消及び水洗化の促進

下水

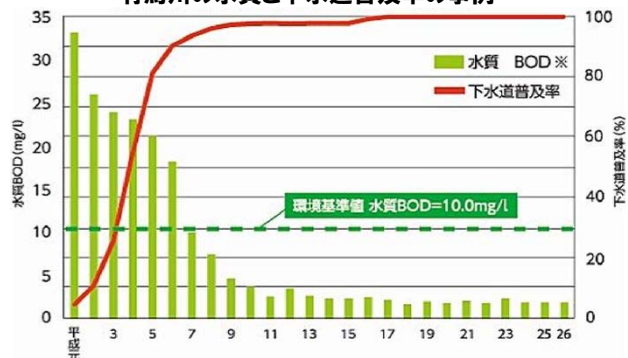
取組概要	進行管理の指標	平成26年度の取組結果		
<p>下水道の整備困難地域の課題解決に向けた取組を推進する。</p> <p>また、未水洗化家屋への戸別訪問や広報活動などにより、水洗化を促進する。</p>	<p>○平成24年度末の下水道普及率※ 99.4%</p> <p>○平成24年度末の水洗化率※ 99.3%</p> <p>※下水道普及率 下水道が整備された区域(処理区域)に居住する人の割合</p> <p>※水洗化率 処理区域内の世帯数のうち、実際に下水道を利用している世帯の割合</p>	<p>下水道未普及地域の整備実施(多摩美地区、登戸土地区画整理地区ほか)</p> <p>○平成26年度末の下水道普及率 99.4%</p> <p>○平成26年度末の水洗化率 99.4%</p>		
		<table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B
評価	B			

今後の取組

○下水道普及率100%に向け、引き続き関係事業者等と協議・調整を進め、下水道未整備地域を解消

○未水洗化家屋の解消に向けた取組を継続実施

有馬川の水質と下水道普及率の事例



※BOD
有機物による汚れの度合いを表す指標であり、水中の有機物が微生物により分解される時に消費される酸素の量

